

第6次総合計画策定に係る新たな将来像について（その2）

●前回の要旨

- ・第6次の6つのテーマ（案）（基本構想素案の6つの目指すまち）を基に将来像を決定する
- ・サブスローガンを別に掲げるか検討する
- ・いくつか候補を作り、小中学生の投票により決定する

●令和6年度第1回総合計画審議会及び、第3回第6次総合計画策定会議の主な意見

- ・ロジックモデルに基づいた計画を策定するのであれば、将来像を基に6つの目指すまちを導いたほうが良いのでは
- ・小中学生に限らず若い世代など幅広い世代の意見も反映させたほうが良いのでは
- ・将来像を策定するには、基本構想の内容を深く理解している者が考える必要があるのでは
- ・人の営みの有機的な循環の継続がまちづくりの根幹的な課題としてあるのでは

●意見を踏まえた、将来像の策定方針

以上を踏まえて、将来像の策定方針を以下の通りとします。

- ・ロジックモデルに基づき、将来像を基に6つの目指すまちを導く形とする
- ・将来像は市の方向性（ビジョン）を示すものとする
- ・6つの目指すまちは「挑戦すること」と「守ること」を視点に置いて導いたものとなるので、将来像に「挑戦すること」と「守ること」の意味を含むものとする
- ・人の営みによる「循環の継続」（の意味）を将来像に掲げるものとする
- ・「循環の継続」、「挑戦すること」、「守ること」が連想されるワードを組み合わせる将来像を策定することとし、いくつかの候補を選定し、最終的に市民投票により決定することとする

●ワード候補例

循環の継続	挑戦すること	守ること
・営みを紡ぐ ・循環が続く ・バトンを繋ぐ ・循環が生む など	・先進的 ・最先端 ・革新的 ・先駆的 など	・ふるさと ・田舎まち（ふるさと） ・帰る場所 ・故郷 など

●組み合わせ例

- ・営みを紡ぐ 先進的な ふるさと
- ・循環が続く 最先端の 田舎まち（ふるさと）
- ・バトンを繋ぐ 革新的な 帰る場所
- ・循環が生む 先駆的な 故郷

●市民投票のパターン

- ①小学4年生から中学3年生まで
- ②小学4年生から若い世代（35歳以下）まで
- ③小学4年生以上